

第87期 報告書

2019年4月1日 ▶
2020年3月31日



MORITA GROUP

人と地球のいのちを守る

Top Message ●ご挨拶

当社は、1907年(明治40年)の創業以来、長きにわたって、消防車のトップメーカーとして、わが国の消防技術発展の歴史とともに歩んでまいりました。これもひとえに株主様をはじめ関係各位からの温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

当社グループは、「人と地球のいのちを守る」というスローガンを掲げ、消防車両・防災・産業機械・環境車両の4つの事業を展開し、災害から人々の生命、財産、そしてかけがえない地球の自然を守る企業グループであり続けること、またそのために一層の技術革新と挑戦を続け、新たな価値を創造することが私たちの使命であると考えて

おります。

昨年4月に策定いたしました2025年度を最終年度とする中期経営計画《Morita Reborn 2025》では、「既存事業の収益力強化」、「海外事業・新規事業の育成、拡大」、「基礎研究力・新商品開発力の強化」、「革新力を持った人材の育成」、「CSR活動の推進」を基本方針とし、グローバルな総合防災ソリューション企業へと飛躍すべく確実に実行してまいります。これからも、広く社会から信頼される企業グループを目指し、全社一丸となって邁進してまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO 中島 正博
代表取締役 社長執行役員 尾形 和美

第87期の概況

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
86,922 百万円	8,855 百万円	9,326 百万円	6,971 百万円
前期比 5.0%減 ↓	前期比 6.6%減 ↓	前期比 7.7%減 ↓	前期比 9.1%増 ↑

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調にありましたが、米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の停滞や社会不安が重なり、先行きに対する不透明感が増しております。

このような環境のもと、当社グループは中期経営計画「Morita Reborn 2025」の初年度として、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、消防車両事業

及び防災事業が低調であったことから、売上高は前期比4,601百万円減少し、86,922百万円(5.0%減)、営業利益は、前期比628百万円減少し、8,855百万円(6.6%減)、経常利益は、前期比778百万円減少し、9,326百万円(7.7%減)となりましたが、旧東京本社売却による固定資産売却益を計上したこともあり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比580百万円増加し、6,971百万円(9.1%増)となりました。

IoT(モノのインターネット)技術を活用し、 消防車「見守りサービス」提供開始

消防車両事業

ポンプ車やはしご車などの消防車の情報をインターネットを通じて収集し、人工知能(AI)で解析する技術を開発いたしました。2020年4月より車両の稼働状況を遠隔診断して、故障の未然防止や適切な修理を案内する「見守りサービス」や、消防車の走ったルートを記録して、活動の振り返りに利活用できるサービスを開始しています。

このサービスは、消防車に通信装置を取り付け、例えば、はしご車の場合、はしごの傾きや速度、稼働時間などの情報を収集し、AIが収集したデータを分析し、消防車の不具合の兆候を発見して、修理等の対応を迅速に行います。

今後はさらに、ユーザーの声に沿ってサービスの拡充を図り、消防隊員の状態を監視する技術などと組み合わせ、火災現場を可視化するシステムの開発を進め、消防活動における消防隊員の安全と安心に貢献いたします。



「モリタIoTシステム」

高性能型アルミ製蓄圧式粉末消火器

『ALTESIMO Plus「アルテシモ・プラス」MKA10B』を発売

防災事業

モリタ宮田工業は、優れたデザイン性を有し、火災時により早く、確実に消火しやすいよう、消火能力を著しく向上させた高性能型消火器『ALTESIMO Plus「アルテシモ・プラス」MKA10B』を発売いたしました。

従来の10型消火器(MEA10B)と比較した場合、A火災(普通火災)の能力単位が約1.3倍、B火災(油火災)の能力単位が約1.7倍に向上しており、約2分の1の時間で消火することが可能となりました。

「アルテシモ・プラス」は、消火能力を向上させながらも、従来の10型消火器と同様、業界最軽量であるだけでなく、国際化に対応した日・英・中・韓の4か国語併記ラベルを採用しています。誰もが使用しやすく、より高性能な消火器をラインナップに加えることで、さらなる安心、安全を提供してまいります。



高性能型アルミ製蓄圧式粉末消火器
『ALTESIMO Plus「アルテシモ・プラス」MKA10B』

塵芥車シリーズのモデルチェンジ完結

環境車両事業



プレス式塵芥収集車
(プレスマスター)



回転式塵芥収集車
(パックマスター)

モリタエコノスは、「より安全に使いやすく!」をコンセプトに着手した回転式塵芥収集車(パックマスター)・プレス式塵芥収集車(プレスマスター)それぞれで、サイズの異なる小型・中型タイプにおいて、塵芥車シリーズのモデルチェンジがいよいよ完結いたしました。

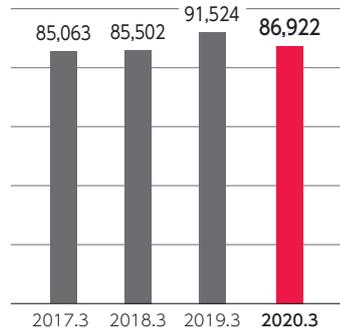
ごみ収集の効率化と作業者の負担軽減、安全性の向上を目指し、デザインは当社独自のハイマウントリアパネルによって、灯火器と表示機器を集約し、視認性と安全性との両立を実現しております。

ごみ収集車は、人々の日常生活を清潔に維持するために、いつも町中をくまなく回り、当たり前のようにごみを集めてくれます。作業される方々にとっても、生活している人々にとっても、安全で力強く、安心感や信頼感のある、スタイリッシュな存在であってほしいと願っています。

財務ハイライト(連結)

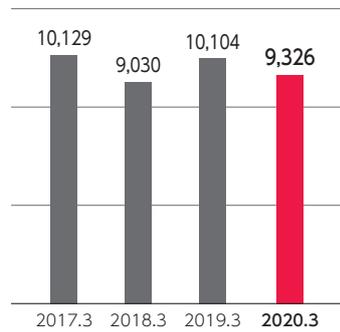
売上高

単位:百万円



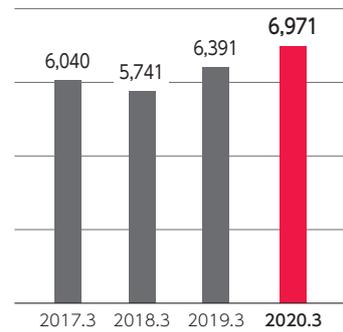
経常利益

単位:百万円



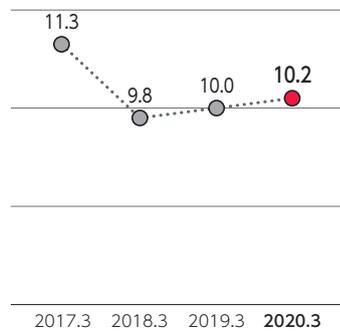
親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



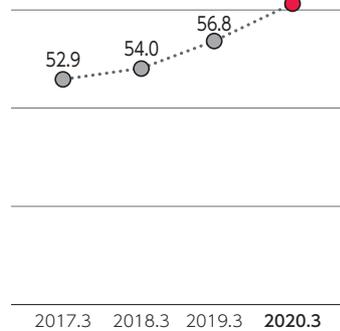
自己資本当期純利益率(ROE)

単位:%



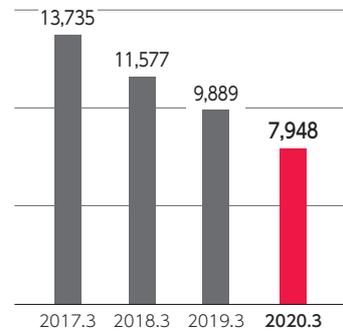
自己資本比率

単位:%



有利子負債

単位:百万円



セグメント別概況

防災事業

売上高 前期比 ↓
19,774百万円 8.6%減

セグメント利益 前期比 ↓
1,718百万円 18.8%減



パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の売上が低調であったため、減収減益。

消防車両事業

売上高 前期比 ↓
51,014百万円 6.6%減

セグメント利益 前期比 ↓
5,715百万円 8.6%減



主に国内売上の減少により、減収減益。

環境車両事業

売上高 前期比 ↑
10,756百万円 1.9%増

セグメント利益 前期比 ↑
881百万円 12.8%増

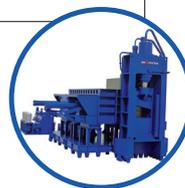


製品の売上が堅調に推移した結果、増収増益。

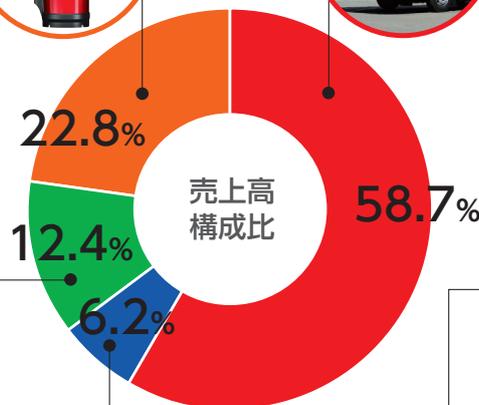
産業機械事業

売上高 前期比 ↑
5,375百万円 14.1%増

セグメント利益 前期比 ↑
508百万円 33.3%増



製品の売上が堅調に推移した結果、増収増益。



売上高
構成比

会社・株式情報

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	1907(明治40)年4月23日
設立	1932(昭和7)年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区芝5丁目36番7号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

役員

代表取締役会長兼CEO	中島正博
代表取締役	尾形和美
取締役	森本邦夫
取締役	金岡真一
取締役	磯田光男
取締役	川西孝雄
取締役	北條正樹
常勤監査役	浅田栄治
常勤監査役	宮崎敦志
監査役	太田将三
監査役	西村捷三
社長執行役員	尾形和美
常務執行役員	森本邦夫
常務執行役員	金岡真一
常務執行役員	村井信也
執行役員	坂本直久
執行役員	伊藤満

株式のご案内

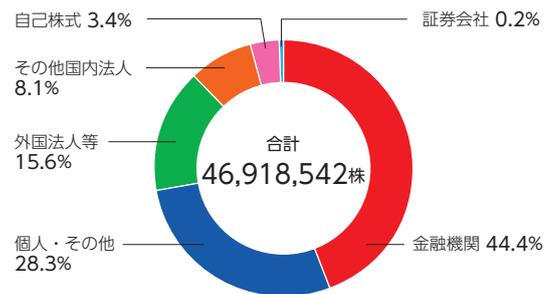
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載する。 https://www.morita119.com/kohkoku/index.html
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式数	100株

主要グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	東京都江東区有明3丁目5番7号 消火器を中心とした消火関連機器、消火装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売
株式会社モリタエコノス	兵庫県三田市テクノパーク28番地 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開発・製造・販売

所有者別株式数分布状況

2020年3月31日現在



大株主(上位10名)

2020年3月31日現在

株主名	持株数(千株)
第一生命保険株式会社	3,265
モリタ取引先持株会	2,231
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,115
株式会社みずほ銀行	2,087
三井住友信託銀行株式会社	2,082
株式会社三菱UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,973
エア・ウォーター株式会社	1,730
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCROO	908

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式1,589千株を保有しております。

人と地球のいのちを守る

MORITA
株式会社モリタホールディングス

[大阪本社]
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
☎06-6208-1907
[東京本社]
〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番7号
☎03-6400-3480
<https://www.morita119.com>



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。